施工説明書

TOTO

アクアオート単水栓(機能部一体タイプ)

TEL20D型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

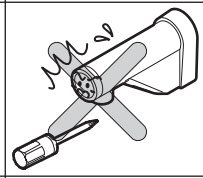
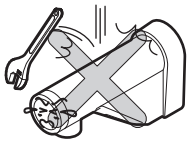
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

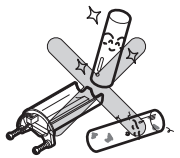
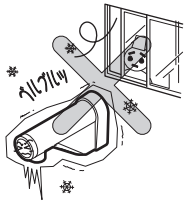
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 注　意

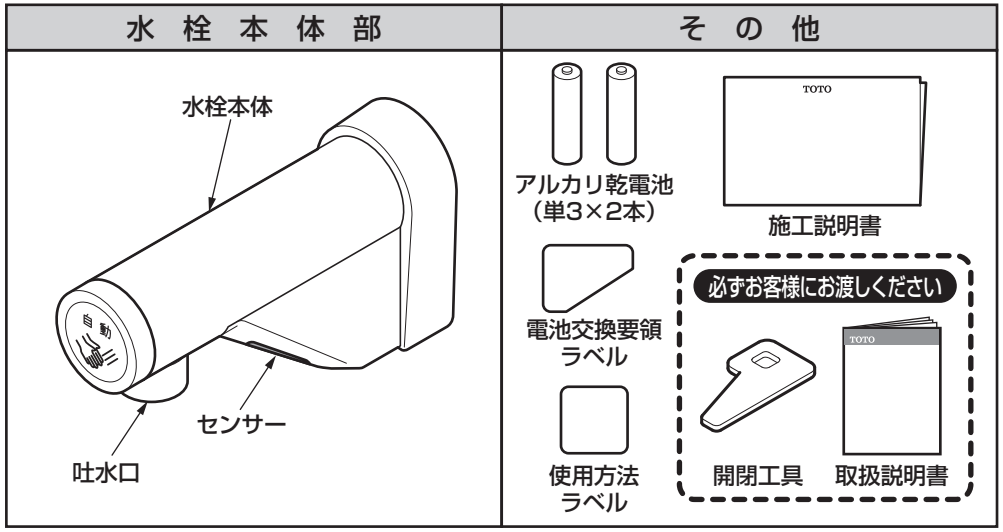
 水場使用禁止	**浴室など湿気の多い場所には設置しない** 故障や感電の原因になります。	
 分解禁止	**分解したり、修理・改造は絶対に行わない** 感電の原因になります。	
 禁　止	**強い力や衝撃を与えない** 破損して、水漢れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 注　意

 禁　止	**新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しない** 電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因になります。	
	屋外や凍結が予想される場所には設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
 必ず実行	**フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う** 水漢れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 部品の確認

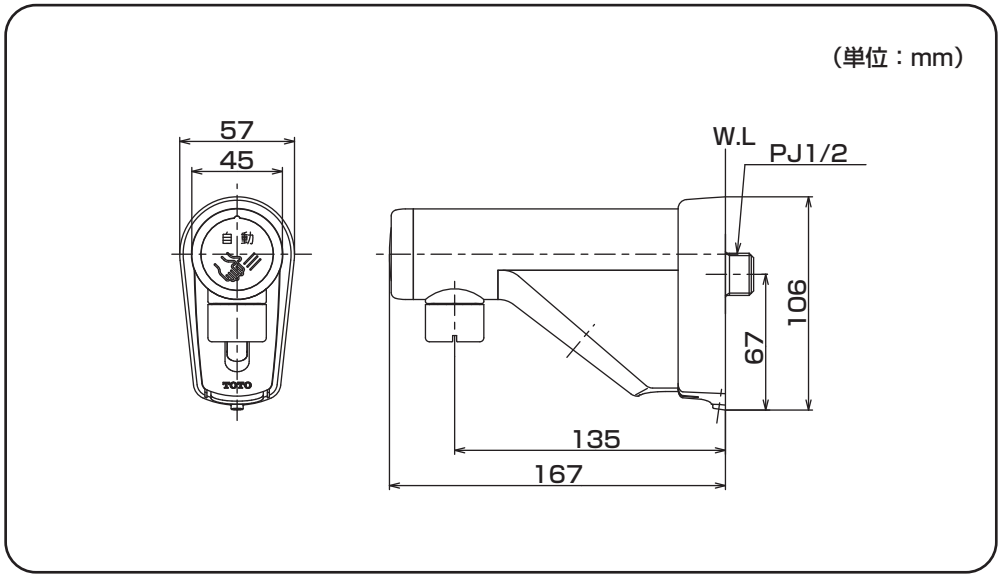
次の部品があることを確認してください。



3 仕様

電源		アルカリ乾電池　単3×2本
乾電池寿命		月4,000回の使用で約2年 （省エネモード12時間/日使用時）
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa（流動圧）
	最高水圧	0.75MPa（静水圧）
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1℃～40℃
給水部接続		PJ1/2
吐水流量		必要に応じて止水栓にて流量調節可能
感知距離		学習方式による感知距離変化型
用　　途		パブリックおよび一般住宅洗面所用

4 完成図



5 取り付け前に

1. 給水圧力の確認

●給水圧力範囲は、0.05～0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。

●給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

2. その他

●乾電池タイプですので、配線工事は不要です。
付属の電池をご使用ください。

●センサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。

●インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

●ステンレス製およびメッキを施した手洗器や洗面器にはご使用できません。（誤作動するおそれがあります。）

●アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。

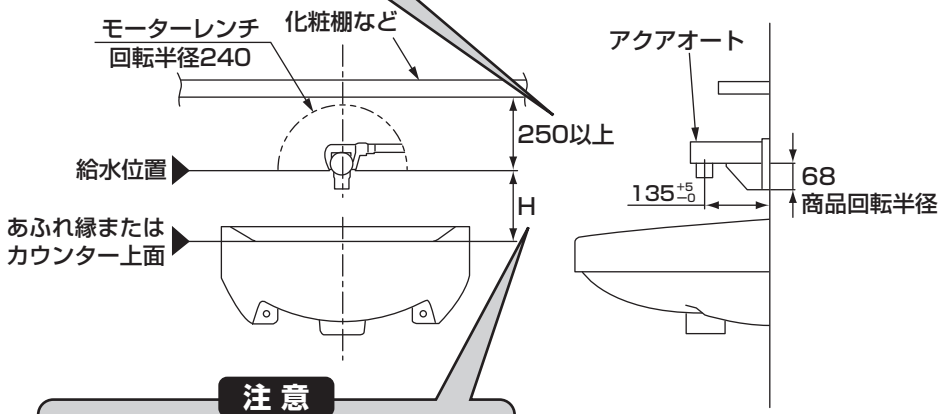
●梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

●取り付ける陶器に合わせて排水金具、止水栓、バックハンガー、取付金具、ブラケットまたはフレームが必要となります。
設計施工資料集にてご確認のうえ、別途お求めください。

3. 器具取付範囲

注 意
水栓取り付け上部に化粧棚などがある場合は自動水栓ねじ込み工具が回せるスペースを確保してください。

注 意
クリーンドライ(温風乾燥器)などとのセットでは、クリーンドライのセンサー光が陶器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。



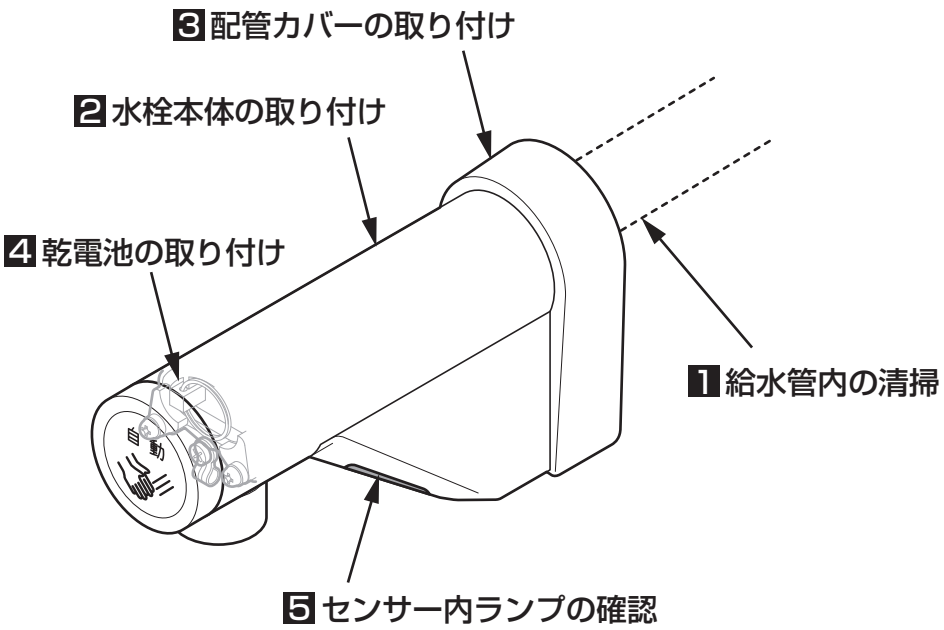
注 意
フィルター付き止水栓の調節やフィルターの掃除および盗難防止用ねじのねじ込みスペースを確保してください。

下表をご覧ください。

対 象 陶 器		H
人研ぎ手洗器		ー
手洗器	L7R、L10D、L21N、L30D、L30DM、L60N	140～200
洗面器	L270C、L270CM、L270D、L270DM、	150～200

注 意
陶器とのセットの場合、盗難防止用ねじのねじ込みには、プラスドライバーを使用してください。

6-1 施工手順



1 給水管内の清掃

重要

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

2 水栓本体の取り付け

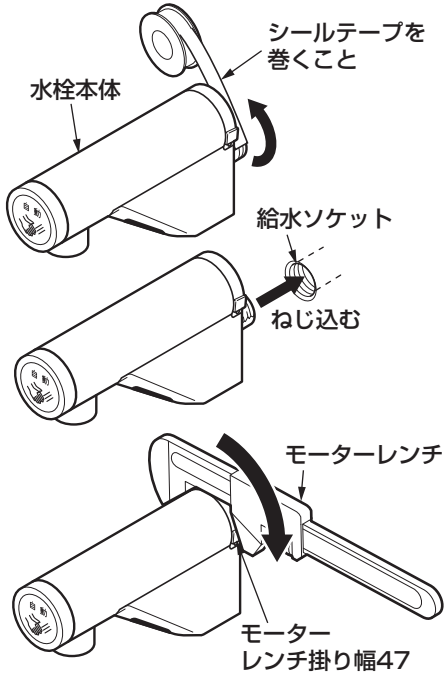
注 意

器具取り付けに必要な範囲内に陶器や棚がないか確認してください。
「5 取り付け前に」の 3. 器具取付範囲 を確認してください。

水栓本体を給水ソケットにねじ込みます。

注 意

水栓本体をモーターレンチで傷つけないよう注意してください。

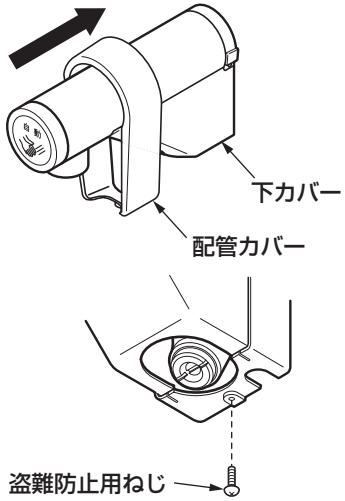


3 配管カバーの取り付け

配管カバーを前から差し込みます。

注 意

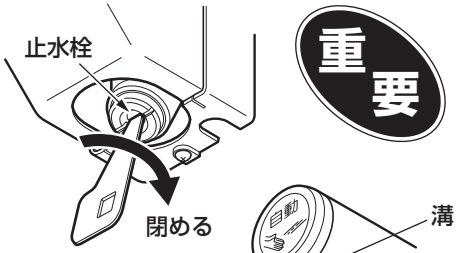
- **盗難などのおそれのある場合は、配管カバーに付属のねじをねじ込み抜け止めをしてください。（配管カバーを手前に抜くと下カバーに引っ掛かるようになります）ねじ込みにはプラスドライバーを使用してください。**
- **配管カバーがガタつく場合は、メジシールなどにて壁に固定してください。**



裏面へつづく

4 乾電池の取り付け

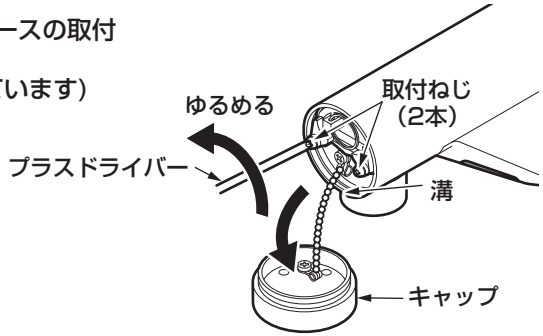
①止水栓を閉める。



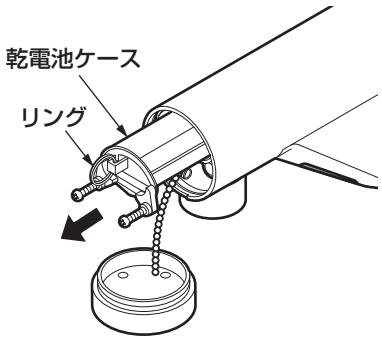
重要

②スパウト先端下面の溝にマイナスドライバーを差し込み、回してキャップを外す。

③プラスドライバーで乾電池ケースの取付ねじをゆるめる。
(取付ねじは抜止め式になっています)



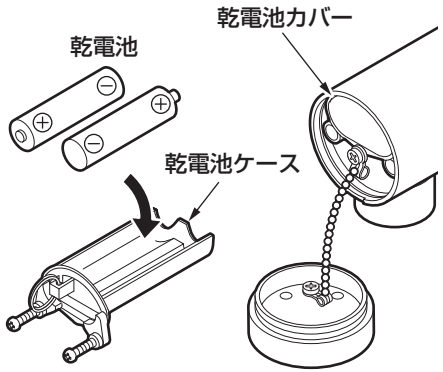
④リングを引っぱり、乾電池ケースを引き出す。



⑤アルカリ乾電池単3×2本を乾電池ケースに乗せて、乾電池カバーに差し込む。

注 意

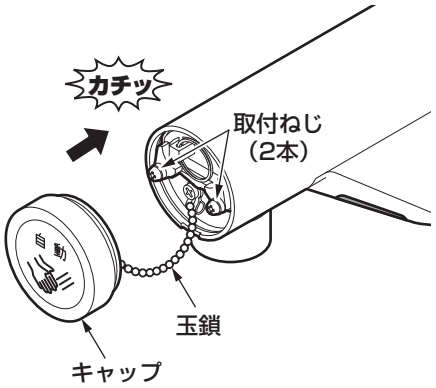
- **乾電池の方向に注意してください。**
- **乾電池ケースは確実に差し込んでください。**
- **乾電池を入れるときは、乾電池カバー内に水が入らないようにしてください。**
- **乾電池を入れるとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内にものを置いたりしないでください。**
  (約20秒間でこの動作は完了します)



⑥取付ねじを締め付け、キャップを「カチッ」と音がするまで押し込む。

注 意

- **玉鎖とリングをはさみ込まないように注意してください。**
- **「自動」の文字が横向きになるように合わせてください。**

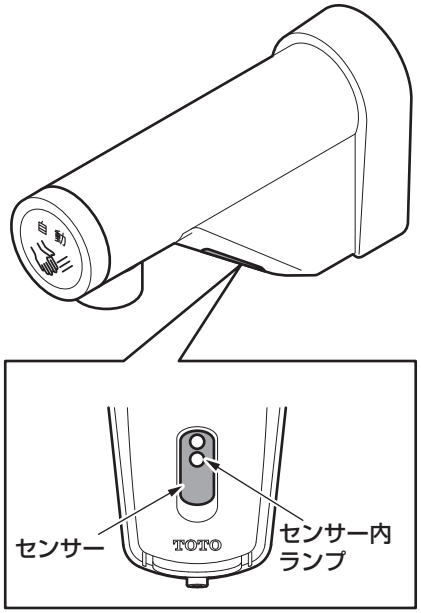


5 センサー内ランプの確認

①センサー内に手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしない状態で、スパウトのセンサー内ランプが点滅していないことを確認する。

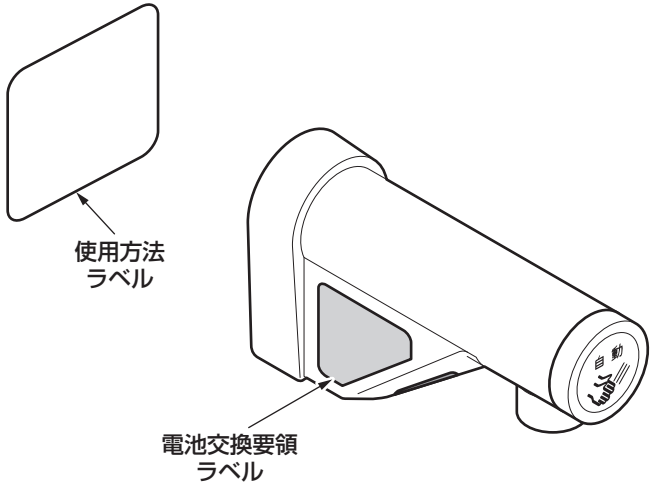
注 意

●陶器の種類によっては、センサー内ランプの点滅が消えないことがありますが、その場合はそのまま設定してください。
（ランプの点滅は約10分後に消えます）



②乾電池交換要領ラベルおよび使用方法ラベルを本体側面または、壁などの目立つ所に必要に応じて貼る。

【商品への貼り付け例】



7 試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

①水漏れの確認
止水栓を開き、給水接続部から水漏れがないか確認してください。

②水を出す・止める
- ●吐水口に手を近づけると水が出ます。
- ●手を離すと約1～2秒後に水が止まります。
- ●設置後すぐは、エアーがみにより流れが乱れることがあります。その場合は、数回水を出し止めしてください。
- ●手を約１分間連続して感知すると自動的に止まります。
（センサー感知は学習方式のため、手を動かさないでいると約15秒で水が止まります）
- ●センサー前面から約5cmの位置に白い紙など反射しやすい物を感知させると、最大１分間水を出すことができます。
※洗面器内に水をためると、水の影響により感知する場合があります。

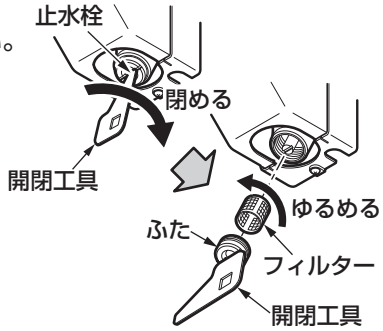
●乾電池をセットしてすぐは、感知距離を自動設定しています。電池を入れてから約20秒待って使い始めてください。

※正常に動作しない場合は、「6-2 **施工手順**」の「**4 乾電池の取り付け**」から再度ご確認ください。

2. フィルターの掃除

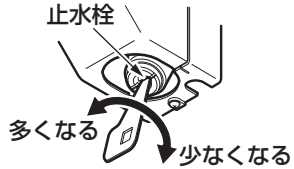
取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。
フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。
また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で **止水栓を閉めたあと、フィルターふたを外してください。**



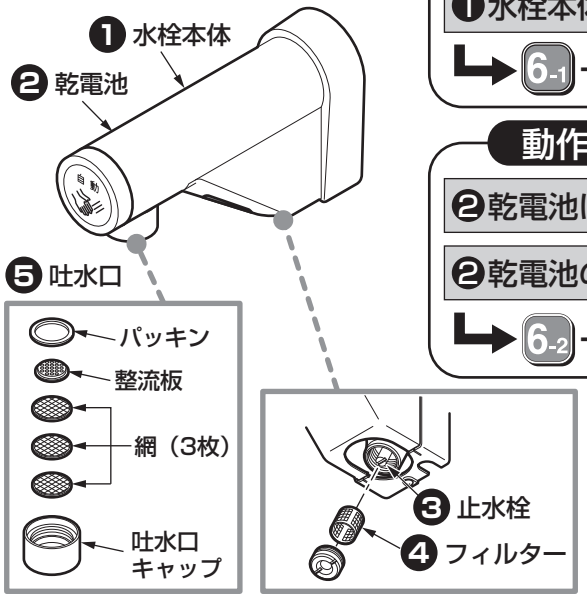
3. 流量の調節

付属の開閉工具で止水栓を回して流量を調節してください。



8 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❶水栓本体の水漏れはないですか？

6-1 ー 2「水栓本体の取り付け」参照

動作の確認

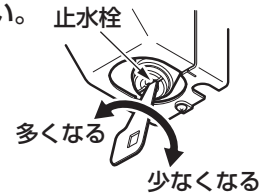
❷乾電池は入っていますか？

❷乾電池の向きは正しいですか？

6-2 ー 4「乾電池の取り付け」参照

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。



❸止水栓は開いていますか？

止水栓で流量を調節する。

❹フィルターのごみ詰まりはないですか？

7 ー 2. フィルターの掃除 参照

❺吐水口のごみ詰まりはないですか？

吐水口の掃除をする。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。